

# 一般質問

(一般質問は4面・5面・7面にも掲載)



## 認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境整備を

公明党 中村 英仁

### 一 認知症対策について

問 平成29年度における市の推計によると、2025年における高齢化率が30%を超え、国の推計においても高齢者の5人に1人が認知症に罹患すると見込まれるなど、今後ますます認知症高齢者が増加することが考えられる。認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けていくために地域の協力が必要だが、本市での対策はどのようなか。

答 認知症サポートセンターやキャラバン・メイトの養成、スキルアップを推進し、認知症カフェでのボランティアなどの実践者を増やすとともに、見守りキーホルダーの交付や迷い高齢者等SOSネットワーク事業など地域での見守り体制を整備した。今後は学生などを対象とした養成講座を行い、若い世代への理解促進に努めるとともに、企業などの協力を得て地域の見守り体制づくりを推進したい。



福井県福井市の「認知症の人にやさしいお店」のステッカー

### 二 不登校児童の保護者への支援について

問 不登校の当事者である児童とともに、保護者への支援が重要であるが、状況はどのようなか。

答 各学校に配置する教育相談コーディネーターにより、ケースに合わせた各専門機関との連携などを中心に、教育支援教室「いずみ」や訪問型個別支援教室「つばさ」とも情報共有し、支援している。要望「いずみ」での保護者会の拡充や、相談体制における窓口機能の充実を進めてほしい。

問 犯罪被害者等基本法では、被害者に対する支援を行政の責任としているが、自治体によって支援に差があるのは問題である。本市のこれまでの支援はどのようなか。

答 被害者の相談体制や小災害見舞金等支給制度があり、過去30年間で1件の給付実績がある。

問 凶悪犯罪発生件数に対し、給付実績1件は少ない。今後「犯罪被害者支援条例」を制定し、支援の拡充をすべきと考えるがどうか。

答 条例制定には事前調整が必要のため、条例を制定した茅ヶ崎市のアドバイスを受け、検討する。

問 ひきこもりのひきこもりの人口が若年層よりも多く、今や中高年の問題として深刻化しているが、本市の支援体制はどのようなか。

答 15歳から39歳までは今後、福祉部が所管で相談窓口を設置しているが、40歳以上は今後、福祉部



## ひきこもりの長期化で問題は深刻 当事者に寄り添った支援体制を

公明党 山下 博己

### 一 犯罪被害者の支援について

問 犯罪被害者等基本法では、被害者に対する支援を行政の責任としているが、自治体によって支援に差があるのは問題である。本市のこれまでの支援はどのようなか。

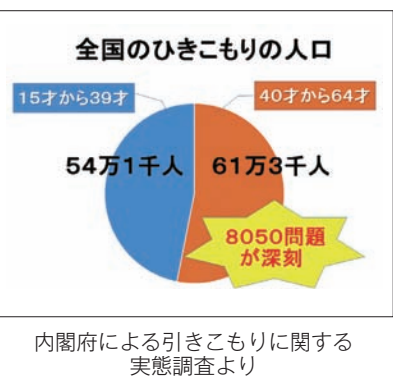
答 被害者の相談体制や小災害見舞金等支給制度があり、過去30年間で1件の給付実績がある。

問 凶悪犯罪発生件数に対し、給付実績1件は少ない。今後「犯罪被害者支援条例」を制定し、支援の拡充をすべきと考えるがどうか。

答 条例制定には事前調整が必要のため、条例を制定した茅ヶ崎市のアドバイスを受け、検討する。

問 ひきこもりのひきこもりの人口が若年層よりも多く、今や中高年の問題として深刻化しているが、本市の支援体制はどのようなか。

答 15歳から39歳までは今後、福祉部が所管で相談窓口を設置しているが、40歳以上は今後、福祉部



## 未来ある子どもたちのための環境創出を

創和会 原 聡

### 一 子どもたちの広場の創出について

問 社会環境や家庭環境の変化に伴い、子どもが外で遊ぶ機会が減り、運動不足による体力低下が問題となっているため、子ども広場を増やすべきと考えるが、どうか。

答 有意な場所と認識しているが、適正管理の観点から廃止も視野に入れた見直しが必要な広場もある。

問 生産緑地には将来の公共施設用地を確保する目的もあり、市内の生産緑地約100ヘクタールを

子どもたちにボール遊びができる環境を(写真は、ひばりヶ丘北子供広場)

問 小学校給食で実際に多く供給している品目を振興作物・地域振興作物に指定し、技術指導や全量買い取りを行うことで新規就農者の呼び水になると思うが、どうか。

答 生産者団体などの意見交換の中で、JAが主体となって集荷・納入すべきとの意見があった。今後、安定供給と生産振興についてJAと協議していく。

問 人口減少・超高齢社会という大きな課題に直面している今日、本市においても立地適正化計画を推進しているが、各都市の規模、

構造、人口、産業など、抱えている課題はさまざまである。こうした中における本市の取り組みと、目指すまちづくりはどのようなか。

答 市街化調整区域、市街化区域などの居住実態を踏まえ、地域コミュニティの充足に向けて、都市の成長も同時に実現するような秦野らしいコンパクトシティを目指していく。

問 本格的な人口減少、超高齢社会が到来し、都市を巡る社会環境が大きく変化している。現在、本市の人口は16万1299人、高齢化率は29.6%となり、すでに人口減少が始まっている。推計によると2045年には12万5209人まで減少し、高齢化率は41.6%

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 中小企業の振興施策について

答 本市の主要産業である製造業が置かれている厳しい現状の中で、行政として中小企業を持つ製品や技術力のPRなどの支援はどうか。

答 また、市内企業の人材育成への支援状況はどうか。

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。



## 人に優しいコンパクトシティに向けて

創和会 横溝 泰世

### 一 人口減少・超高齢社会におけるまちづくりについて

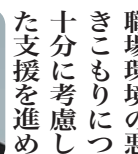
問 人口減少、超高齢社会という大きな課題に直面している今日、本市においても立地適正化計画を推進しているが、各都市の規模、

構造、人口、産業など、抱えている課題はさまざまである。こうした中における本市の取り組みと、目指すまちづくりはどのようなか。

答 市街化調整区域、市街化区域などの居住実態を踏まえ、地域コミュニティの充足に向けて、都市の成長も同時に実現するような秦野らしいコンパクトシティを目指していく。

問 本格的な人口減少、超高齢社会が到来し、都市を巡る社会環境が大きく変化している。現在、本市の人口は16万1299人、高齢化率は29.6%となり、すでに人口減少が始まっている。推計によると2045年には12万5209人まで減少し、高齢化率は41.6%

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。



## 今こそ市内中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

創和会 福森 真司

### 一 中小企業の振興施策について

問 本市の主要産業である製造業が置かれている厳しい現状の中で、行政として中小企業を持つ製品や技術力のPRなどの支援はどうか。

答 また、市内企業の人材育成への支援状況はどうか。

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。

問 中小企業活性化のためのPR・人材育成支援を

答 市内企業のニーズに応じて、製品・技術力のPRや受注促進の場の拡大に努めている。また、中小企業者の経営管理能力や技術力の強化を図るため、商工会議所と連携して年3回、工業経営講座を開催するなどの支援を行っている。

要望 商工会議所などの関係機関と連携し、中小企業がPRできる機会や人材育成支援について、さら

%と見込まれているが、介護・介助の人材は不足しており、現役世代の減少の中、介護を受けることや医療の受診が難しくなることが予測され、危惧している。将来を見据え、今すべきことを問う。

答 地域福祉計画や高齢者保健福祉計画、エイジフレンドリーシティの理念・指針などを考慮し、これまで指摘された問題や課題を真摯に受け止め、誰もが安心して暮らすことができる人に優しいまちづくりに努力する。

問 文化会館の今後の運営について

答 利用者が安全で快適に利用できる計画的な環境整備に努めてほしいが、指定管理者制度を含めた民間委託など全体的な管理運営方法についての取り組みはどうか。

答 公共施設の指定管理者制度を含めた民間委託の在り方についての方針を定め、文化会館の地域性、設置目的、利用状況や設備などの改修を考慮した上で、施設サービスの向上と効率的、効果的な管理運営方法を検討したい。